



カマタマーレ讃岐

医療従事者の方への感謝プロジェクト 1/2

リモートマッチで開幕した2020シーズンから約1年、有観客で試合を開催出来ているのは、感染症と最前線で闘う医療従事者の方々のおかげです。コロナ禍で開幕した試合から約1年という節目の試合の6月26日のロアッソ熊本戦をスタートに医療従事者の方々へ感謝を伝える活動を行いました。



活動場所 Pikaraスタジアム、香川県医師会、香川県看護協会



協働者

企業、NPO、住民、学校、行政

協働者名

一般社団法人香川県医師会、
公益社団法人香川県看護協会



協働者の声

一般社団法人香川県医師会／常任理事 廣瀬 友彦 氏

昨年7月、貴社より医療従事者へ向けて、選手やサポーターの皆さまから応援メッセージが書かれたフラッグを賜りました。新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、医療従事者は医療の最前線で、日々感染のリスクが伴う中で来る日も来る日も患者さんの治療や看護等に献身的に携わっており、常にこの緊張感が途切れない状況下で次第に疲労が高まっています。その中で、「ありがとう」、「がんばれ!」といった医療従事者を想う温かいメッセージは大変励みになります。現在、感染力の高いオミクロン株の出現、年末年始に人の動きが増えたことにより、香川県でも感染者が急増しています。今後も地域の流行状況を見ながら臨機応変に対応し、地域社会の発展のため、尽力してまいります。選手の皆さまにおかれましては、これからも活気あるプレーで県民に元気を与えて続けてください。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



活動詳細情報

1

[公式サイト①](#)

2

[公式サイト②](#)

3

[公式サイト③](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ

3



17





カマタマーレ讃岐

医療従事者の方への感謝プロジェクト 2/2

Story

カマタマーレ讃岐ではコロナ禍で開幕した試合から約1年という節目の試合である6月26日のロアッソ熊本戦をスタートに医療従事者の方々へ感謝を伝える活動に取り組んで参りました。今、私たちが有観客で試合を開催できているのは医療従事者の方々のおかげです。何か恩返しできる事はないかとクラブで考えた結果、感謝の気持ちを形にして直接伝えることが必要ではないかと考え実行に至りました。

ロアッソ熊本戦ではスタジアムのテーマを「医療従事者の方々へ感謝」と掲げ試合会場では様々な取り組みを行いました。その一つとして医療従事者の

方とご家族の方をご招待した結果76名の方にご来場いただき試合観戦を楽しんでいただきました。そしてイベント広場では「医療従事者へ感謝を届けよう!寄せ書きブース」を設置しサポーターの方々にもメッセージをもらい、選手、スタッフだけではなくクラブに関わる人々全員で取り組みました。キックオフ前には開場全員で拍手を行い、医療従事者の方々への感謝と敬意を表しました。この試合を通して改めて有観客で試合開催できている事のありがたさと医療従事者の方々への感謝の思いを強く抱きました。

後日、試合会場で寄せ書きをしたフラッグに選手もメッセージを書き、香川県医師会と香川県看護協会の皆様のもとへ選手がお届けし直接感謝の思いを伝えました。

この活動を通じて、試合を開催できる喜びを再認識するとともに医療従事者の方々への感謝と敬意をクラブに関わる人全員で表現することができました。今後も感謝の思いを持ち感染症対策を徹底し試合を開催していきます。

